

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 文化振興課	土井口 章博
施策名	5 特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化	事業群関係課(室)	文化振興課	
事業群名	① 歴史や文化芸術による地域活性化	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 15,627	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
<p>本県の特徴ある歴史や文化芸術による地域づくり、それを担う人材の育成、文化資源を活用した地域の取組への支援など、官民協働で地域の文化資源を磨き上げることにより、歴史や文化芸術による地域の活性化を図ります。</p>						<p>i) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供 ii) 本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築 iii) 継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施 iv) 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と海外との交流拡大、県内の日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信</p>				
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	進捗状況の分析
	地域と協働して実施するイベントへの参加者数		目標値①	15,100人	15,500人	15,900人	16,300人	16,700人	16,700人(R7)	
			実績値②	13,290人(H30)						
		達成率②/①							—	文化芸術イベントを主体的に企画・運営することを目的に設立された各地域の実行委員会により、それぞれの地域において、文化芸術をマネジメントできる人材育成と体制づくりが図られた。イベント実施回数、イベント参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、事業の中止や一部内容の変更によりいずれも減少することになるが、オンラインの活用により多くの観覧者が得られていることから、このような観覧者を含む参加者数について、目標達成に向けて取り組んでる。

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績	達成率	
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標	R3実績						
			事業実施の根拠法令条項	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	令和2年度事業の実施状況(令和3年度新規・補正事業は事業内容)					
			事業期間				事業対象					
			所管課(室)名									
取組項目 i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費				長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県内各地で開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。中止に伴い事業内容を変更し、オンラインを活用したワークショップの開催やホームページの充実を図った。 県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、長崎県新人演奏会が中止になるなど、中止や内容変更を余儀なくされた。	【活動指標】				●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染拡大により、県展、移動展が中止となったが、オンラインの活用など新たな取組やホームページの充実により、芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動の普及促進を図った。 ・新型コロナウイルス感染拡大により、長崎県新人演奏会が中止となるなど、文化団体活動は影響を受けたが、離島地区でのコンサートやワークショップを開催し、芸術鑑賞・参加の機会を創出した。 ・コロナ禍において、新たな手法であるオンラインを活用し、離島(対馬市)地域において、高水準の美術ワークショップを開催した。 ・コロナにより限定的になったが、様々な文化芸術分野や地域において、県民のニーズに応じた文化芸術活動の実施を支援することにより、県民文化の向上を図った。
				15,557	13,395	5,477		展覧会の回数(回)	5	0	0%	
				23,571	18,557	5,497		【活動指標】				
								主催事業(自主事業)実施件数(件)	15	9	60%	
			R2-				【成果指標】					
			文化振興課	—	—	—	長崎県美術展覧会実行委員会、長崎県文化団体協議会	県展の観覧者数(人)	15,000	0	0%	
								【成果指標】				
								主催事業(自主事業)参加者数(人)	12,000	4,041	33%	
									12000			

取組項目 ii	○	2	「描いてみんなね！長崎」事業費	1,636	1,636	2,401	首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込み、マンガ、小説、脚本などの分野での作品化を図る手法の確立を目指すとともに、放送局など、より幅広い人的ネットワークの構築に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、作家等の本県への招聘が限定的となった。	【活動指標】	5	4	80%	●事業の成果 ・出版社や作家を本県への取材旅行に招待し、本県を舞台とした小説創作支援を行ったところ、2件の作品化が実現したが、新型コロナウイルスの影響で本県への訪問が限定的となり、目標を達成できなかった。 ・出版社や作家へ継続的に、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源の売り込みを行った。
				70	70	2,348		【活動指標】	5	1	20%	
				1,910	1,259	2,356		【活動指標】	5			
			R元-3	—				【成果指標】	4	3	75%	
			文化振興課	—	—	—	出版社・作家	【活動指標】	4	2	50%	
				—	—	—		【成果指標】	4			
取組項目 iii	○	3	若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業費	35,385	16,279	7,853	文化芸術による地域づくりの推進と人材育成を図るため、東京藝術大学、地元大学等と連携し、離島地域で「長崎しまの国際芸術祭」を開催するとともに、全県域における若者を対象としたワークショップ等の取組により「ながさき愛」を高め、交流人口の拡大・関係人口の創出を図る。	【活動指標】				—
			(R3新規)R3-5	—				【活動指標】				
			文化振興課	—	—	—		地域実行委員会	【成果指標】	16		
				—	—	—		【活動指標】				
				10,934	10,934	27,486		【活動指標】				
取組項目 iv	○	4	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費				長崎県のプレゼンスの向上や中国との交流の深化を図るため、隠元禅師や孫文・梅屋庄吉などに象徴される長崎と中国との交流の歴史について国内外への効果的な情報発信を実施するとともに、本県の特徴ある歴史文化を研究する「長崎学」や「日本遺産」を活用して国内・海外交流及び情報発信を強化する。	【活動指標】				—
								【活動指標】				
			(R3新規)R3-4	—				【活動指標】	30			
			文化振興課	—	—	—		—	【成果指標】	72		
				—	—	—		【活動指標】				
				—	—	—		【成果指標】	40			
取組項目 v	○	5	長崎県文化観光推進事業費	45,427	12,477	19,633	文化観光推進法に基づく国の補助金等を活用することにより、博物館などの文化観光拠点施設の機能強化や観光施設等との連携による周遊を促進する。	【活動指標】				—
			(R3新規)R3-7	—				【活動指標】	2			
			文化振興課	—	—	—		—	【成果指標】	4		
				—	—	—		【活動指標】				
				—	—	—		【成果指標】				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。新型コロナウイルス感染拡大により、県展、移動展ともに中止となったが、オンラインの活用など新たな取組やホームページの充実により、芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動の普及促進を図った。 ・文化団体助成費では、自主事業である長崎県新人演奏会が中止となるなど、新型コロナウイルス感染拡大の影響があったが、過去の出演者を含む出張公演や若者へのワークショップを離島地域で開催するなど、県内どこにいても良質な芸術に触れられる機会の確保に努めた。 ・地域住民に事業に参画していただく「長崎しまの国際芸術祭」等を実施することにより、良質な芸術に触れられる機会の提供が図られた。新型コロナウイルス感染拡大により、引き続きコロナ禍におけるガイドライン等に沿った文化芸術活動の実施が求められている。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県展、県選抜作家展の同時開催など、県展の段階的な再編を検討し、出展数、観覧者数の増加につながるような「総合美術展」としてステップアップしていく。また、新型コロナウイルス感染拡大により、イベント等の集客や実施方法に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインなどを活用した新たな手法を取り入れていくことを検討する。また、出品数や観覧者数、協賛企業数の増加につながる運営方法の改善について、県展実行委員会と協議を進める。 ・地域文化活動の活性化を図るため、新しい分野の団体の掘り起こしが必要である。 ・イベント等の開催において、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、集客や実施内容に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインの活用など新たな手法の構築を検討していく。
<p>ii 本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、若者が主体的に活躍できる新たな地域ネットワークづくりを推進することが重要である。新型コロナウイルス感染拡大により、作家等の本県への招聘は限定的であったが、本県をテーマとしたマンガや小説等の作品化を推進することにより、本県の魅力発信に努めるとともに、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築を推進した。今後は、更なるネットワーク強化を図る。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源のさらなる売り込みを行い、マンガ、小説、脚本などの分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、引き続き、放送局など、より幅広い人的ネットワークの構築を図る。また、出版社等との関係強化のため、創作支援に留まらない手法を構築していく必要があるため、タイアップや、県媒体を活用した作品の広報PR等を実施する。
<p>iii 継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成と、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業」においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業の中止、オンラインを活用した内容等への変更を余儀なくされた。引き続きコロナ禍におけるガイドライン等に沿った文化芸術活動の実施が求められている。 ・本事業を総合芸術祭として一体的に打ち出し、広く情報発信に努めるとともに、地域の自立を促すため、国庫や協賛金など財源の多様化が求められている。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の振興は、地域の人々のアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、地域実行体制の強化・人材育成を図っていく。 ・イベント等の開催において、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、集客や実施内容に大きな影響が出るのが想定されるため、オンラインの活用など新たな手法の構築を検討していく。
<p>iv 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と海外との交流拡大、県内の日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隠元禅師の顕彰については、長崎歴史文化博物館における黄檗文化に関する展示会の開催のほか、隠元特集本の発行、ホームページに特集ページの開設などを実施し、一定の周知を図ることができた。ただし、長崎ゆかりの偉人に対する認知度はまだ十分ではなく、行政主導による取組の側面が強い。 ・日本遺産の取組については、日本遺産の目的である地域振興につながるよう、各種情報発信や普及啓発のほか、ガイド育成、多言語案内板の整備などを実施した。しかしながら、日本遺産そのものの知名度が低いことや、吉岐・対馬・五島の各地域が連携した普及活動が十分に行えていないことが課題である。 ・本県のキリシタン文化は学びや感動をもたらす稀有な文化観光資源として観光客の増加につながることが期待されるが、潜伏キリシタン関連遺産の構成資産が点在しているうえ、城跡、集落、教会堂など多岐にわたり、価値がわかりにくい側面がある。 	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎ゆかりの偉人の顕彰については、民間の動きを活発にするとともに、わかりやすく国内外に広く情報発信するなどの取組を継続して行うことにより、孫文と梅屋庄吉の友情の物語や、隠元が日本文化に与えた影響に対する認知度・理解度を高め、交流の拡大、多様化につなげていく。 ・日本遺産については、各地域の構成資産や歴史ストーリーが持つ魅力の磨き上げを図ることや、連携した誘客対策等により、ふるさと教育や観光誘客の促進に取り組むとともに、日本遺産の全国イベントをはじめ、さまざまなイベントや各種媒体でそれぞれ持つ魅力を発信して知名度向上を図っていく。 ・キリシタン関連遺産の成立した背景や価値をわかりやすく学べるように博物館等の魅力増進や機能強化を図るとともに、周辺の観光施設等と連携した周遊を促すことで来訪者の満足度向上につなげ、再訪意欲に結びつける。

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費	「県展」において、ホームページをリニューアルしたことにより可能となった「非接触型オンライン出品申請」による応募促進や、オンラインによる受賞作品の発表、過去の入賞作品の紹介など、県展の魅力を広く周知することにより、参加促進を図る。	②③⑥	「県展」と「県選抜作家展」の同時開催など、観覧者にとって魅力ある「県内最大の総合美術展」へ再編することなどを検討する。また、県内の文化芸術団体に活躍の機会を提供することにより、地域コミュニティの活性化、若者人材の掘り起こし、ふるさと教育につなげ、地方創生に資するとともに、地域文化を磨き上げることにより、文化芸術立県としてのレガシーを残す。	改善
			R2-				
			文化振興課				
取組項目 ii	○	2	「描いてみんな！長崎」事業費	出版社等との関係強化のため、創作支援に留まらない手法を構築していく必要があるため、タイアップや県媒体を活用した作品の広報PR等を実施する。	②⑥	取材時には学芸員や地域ガイドによる充実した視察対応を行い、取材後は継続した情報提供により関係性を構築し、県広報媒体を活用したPR支援など作品化を図る手法の確立を目指すとともに、マンガに限らず、小説や脚本など他分野で幅広い人的ネットワークの構築に努める。R3に終期を迎えるが、下記のためR4以降も事業を継続する方針 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、招聘予定の作家の来県が次年度となったため ・出版社と良好な関係性が構築されており、招聘から作品化まで順調に事業実施が行われているため	改善
			R元-3				
			文化振興課				
取組項目 iii	○	3	若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業費	R3新規	②③⑤⑥	文化芸術の振興は、地域の人々のアイデンティティ再認識に寄与するとともに、郷土愛を高め、若者の人口定着を図る手法として効果的であることから、東京藝術大学との連携を強化し、そのノウハウ、人的ネットワーク等も活用し、地域実行体制の強化・人材育成を図る。また、インバウンドを含む交流人口の拡大や関係人口の創出を図るため、離島地域を中心に、海外からアーティストを招き、地元の資源を活用した文化芸術活動を実施する「しまの国際芸術祭」を開催する。また、若者の参画を拡大する仕組みを構築するとともに、訴求力のあるクリエイター等を招聘し、参加者と地域の交流が継続する活動を展開する。	改善
			(R3新規)R3-5				
			文化振興課				
取組項目 iv	○	4	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費	R3新規	②⑥	令和4年は、隠元禪師大遠譚350年、福建省との友好40周年でもあり、顕彰の機運が高まることが想定されるため、それに合わせて長崎歴史文化博物館において「隠元禪師と黄檗文化」をテーマにした特別企画展を開催する予定であり、県内外の多くの方々に黄檗文化の発祥の地である長崎の魅力アピールする。また、隠元ゆかりの地域(京都宇治、中国福建省等)と連携した活動を実施する必要がある。 県内に4つある日本遺産で連携した情報発信や、国境の島における杵岐・対馬・五島の各地域が連携した誘客活動に取り組むとともに、日本遺産や長崎の地域学等を通じた長崎特有の歴史・文化の県内外への発信等により、知名度向上を図り、誘客促進に向けて取組を強化していく必要がある。	改善
			(R3新規)R3-4				
			文化振興課				
○	5	長崎県文化観光推進事業費	R3新規	⑤⑥⑧	博物館等の展示内容の充実や機能強化を図るとともに、新たに文化観光ガイド育成や地域間周遊促進に市町と協力及び役割分担を行いながら、取り組むことにより地域のさまざまな文化資源のさらなる魅力増進や、周遊促進を図っていく必要がある。	改善	
		(R3新規)R3-7					
		文化振興課					

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点